

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想 < 小・社会 >

特別研修員 社会 佐々木 大介 (小学校教諭)

単元名 『水はどこから』 (第4学年) 全10時間計画
単元のねらい

社会的事象の見方・考え方を働かせ、飲料水に関する問題を追究・解決する活動を通して、飲料水に関わる対策や事業について理解し、学んだことを社会生活に生かすことができるようにする。

単元構想

本単元では、飲料水を安全で定期的に供給できる仕組みや飲料水のもとになっている川や地下水、森林が果たしている役割について理解します。つかむ過程では、児童にとって驚きのある資料を精選し、提示します。そして、児童から出てきた疑問や調べたいことを基に単元の課題を設定します。追究する過程では、地域の人材や物的資源を活用して、浄水場の見学を行います。見学後に、調べたことを共有し合い、深めさせます。まとめる過程では、追究の過程で理解してきた内容を総括し単元の課題に対する結論を導き出すとともに、教科横断的な視点から国語科の「見学したことを報告しよう」と関連付けて報告書の作成を行うように構成しました。

過程	主な学習活動	興味・関心をもたせる資料
つかむ (3)	<p>1. 単元の課題を把握する。 水に関するクイズや資料などを基に、疑問や調べたいことを話し合い、単元の課題を立てる。</p> <p>毎日使う水は、どのような仕組みでわたしたちのところまで届くのだろう。</p> <p>単元の課題に対する予想を出し合い、それを確かめるための調べる計画を立てる。 浄水場の見学で調べたり質問したりすることを話し合う活動を通して、単元の課題を解決するために必要な情報を集める。</p>	<p>水に関するクイズを提示し、児童に興味・関心を高めさせるとともに、本単元で、学ぶ内容とながりのある資料を用意する。</p> <p>なぜ、日本はきれいな水が毎日飲めるのだろうか？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>毎日 8時間</p> <p>ある国の女の子が5Lの水くみにかかる時間</p> </div> <p>【スライド資料】</p>
追究する (6)	<p>2. 単元の課題の解決に向け、単位時間ごとに追究をする。 < 児童の意識 ></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>浄水場を見学して、水道水を作る仕組みを調べる。</p> <p>水道局の人々の仕事を調べ、安全で大量の水が市全域に送られる仕組みを理解する。</p> <p>学校にある水道施設を調べ、安全で大量の水が教室まで送られる仕組みについて理解する。</p> <p>水道水の源である地下水や川の水について、水の循環や森林との関係を調べ、地下水と川の水の源や、森林が果たしている役割について理解する。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>水をきれいにするためには、たくさんの工程があるのだね。</p> <p>高いところに受水場や配水場を作って、家に送れるようにしているのだね。</p> <p>学校では、受水槽に送られた水がポンプで高架水槽に送られているから、3階でも勢いよく水が出るのだね。</p> <p>水は、山に雨が降って、森が雨水の汚れをとってくれてきれいな水になるのだね。</p> </div> </div>	<p>資料の読み取らせ方の工夫</p> <p>視点を明確にし、分かったこと、気付いたこと、思ったことなどを書くように助言する。 集中して、資料の読み取りができるように、1枚ずつ資料を提示し、読み取りの時間を明確に指示する。</p> <p>学習形態の工夫</p> <p>小グループで交流させることで、多様な意見に気付き、考えを深められるようにする。</p>
まとめる (1)	<p>3. 単元の課題についてまとめる。 浄水場の仕事や水資源についての報告書を作り、単元の課題の結論を考える活動を通して、浄水場の仕組みや水を送る工夫、環境保護の大切さを理解する。</p> <p>きれいな水を作るために、たくさんの工程があったね。水資源を守るために、森林も大切にしなければいけないね。これからも、水を大切にするために、節水などを心掛けていきたいな。</p>	<p>他教科との関わり</p> <p>国語「見学したことを報告しよう」の学習を基にして、報告書の作成を行う。</p>

指導例：『水はどこから』（第4学年 第1時）

1 本時のめあてをつかむ。

○人が生きていく上で必要なものは何かを考える。

T：人が生きていく上で、最も必要なものは何だろう。

S：水です。

T：水はどこから来ていると思いますか。

S：川かな。海じゃない。雨も関係していると思うよ。

めあて 水に関するクイズや写真資料、家庭での水の使われ方の資料などを基に、「水はどこから」の学習について、単元の課題を立てよう。

2 一人一人が、本単元の社会的事象に関わる資料を基に、疑問や調べたいことを考える。

○水に関するクイズや写真資料から、考えたことや疑問に思ったことを発言する。

T：「毎日8時間」、この数字は何だろう？

S：水が届くまでの時間だと思います。

S：水がきれいになるまでの時間だと思います。

T：ある国の女の子が、毎日5Lの水を取りに行くためにかかる時間です。

みんなは、水を手に入れるのにそんなに時間がかかるかな？

S：かかりません。なぜだろう？知りたいな。

○普段、家庭では何に一番多く水を使っているか、自分の予想をノートに書く。

T：普段、生活の中で水を一番使っているのはどのような時だろう？

S：お風呂だと思います。

S：料理のときじゃないかな。

S：トイレのときかも。

T：トイレが一番です。ちなみに日本人は、トイレも含めて一日に一人当たり約680Lの水を使っています。



3 学級全体で、水についての疑問や調べたいことの共有や焦点化を図る。

○水についての疑問や調べたいことを発言する。

T：水について、疑問や調べたいことを発表しましょう。

S：水がどこから来るのか知りたいです。

S：水をどのようにしてきれいになっているのかな。

S：学校の水は、どうして3階まで届くのか、調べたいです。

○板書の内容を基に「水はどこから？」「きれいな水を作る仕組み」「水が届く仕組み」などのキーワードを共有する。

4 本時のまとめとして単元の課題を立て、一人一人が学習の振り返りをする。

○共有したキーワードを基に、単元の課題を文で表し、まとめる。

【単元の課題】

毎日使う水は、どのような仕組みでわたしたちのところまで届くのだろう。

○本時の振り返りをする。

☆世界には、水を得るために何時間もかけている国もあるのだな。日本は、どうして簡単に水が手に入るのだろう。詳しく調べてみたいな。

指導のポイント

学習内容への意識付け

○これから何について学ぶかを意識させる発問をすることで、本単元の学習内容について見通しをもたせる。

驚きのある資料提示

○児童にとって驚きや意外性のある資料を精選して提示し、水について、疑問や調べたいという意識をもたせる。

単元の課題に向けた共有や焦点化

○児童の言葉を基に単元の課題を設定できるようにするために、児童の疑問や調べたいことについての発言を板書し、その中のキーワードを共有できるようにする。

単元の課題の設定

○共有したキーワードを基に話し合い、単元の課題を児童の言葉でまとめられるようにする。

本時の振り返りの視点

○習得した知識や参考になった友達の意見、次時に調べてみたいことを記述させることで、本時の振り返りをさせる。

指導例：『水はどこから』（第4学年 第9時）

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

- 水道水のもとになっているのが、地下水や川であることを確認する。
- 地下水や川の水は、地球にある水の中で、どれくらいの割合なのかを考え、それらのものがどこから来るのか、予想する。

T：わたしたちが使える地下水や川の水は、地球にある水の中で、どれくらいなのだろう？100%、10%、1%、0.01%から選ぼう。

S：10%かな。いや、もっと少ないかもしれないな。

T：正解は、0.01%。お風呂に例えると、スプーン1杯分です。

S：そんなに少ないのか。そんな貴重な地下水や川の水は、どこから来るのかな。

めあて 地下水や川の水は、どこから来るのだろう。

めあての設定

- 単元の最初に考えた学習計画を振り返り、本時で解決したいことを考えられるようにする。
- 児童が驚きをもち、興味をもって本時の学習に取り組めるように、課題意識が高まる資料を準備する。

2 一人一人が、解決に必要な情報を集め、読み取る。

- 「水の循環」の資料を見せ、資料から分かったこと、気付いたこと、思ったことなどをノートに記述する。

T：地下水や川の水は、どこから来ているのだろう？

S：海の水が雨や雪になって、雨や雪が川の水になっている。

- 「水をたくわえる山の森林」の資料を見せ、資料から分かったこと、気付いたこと、思ったことなどをノートに記述する。

T：森林がないと、どうになってしまうのだろう？

S：森がないと地下水がたまらない。森も浄水場みたいな働きがあるのかな。

- 一人一人が記述したことを小グループで伝え合い、共通点や相違点を考える。



資料の読み取らせ方の工夫

- 視点を明確にし、分かったこと、気付いたこと、思ったことなどを書くように助言する。
- 集中して、資料の読み取りができるように、1枚ずつ資料を提示し、読み取りの時間を明確に指示する。

学習形態の工夫

- 小グループで交流させることで、多様な意見に気付き、考えを深められるようにする

3 学級全体で整理した情報を基に考察する。

- 二つの資料から読み取った情報を基に、地下水や川の水がどこから来るのかを考える。

T：調べたことを話し合しましょう。

S：海の水が雨や雪となり、川の水になっている。

S：森林があることによって、水が流れていかず、地下水となっている。

- 「植生による雨水の浸透生の違い」の資料を基に、森林によって水がきれいになることを確認する。

T：貴重な水資源や水をきれいにしている森林を、これからどうすればよいだろう。

S：これからも水や森など、自然環境を大切にしなければならないね。

追加資料の提示

- 追加資料を見せることで、森林が果たす役割について、視覚的にも捉えられるようにする。

4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

- 水のもとになっている地下水や川の水が、山に降った雨水や雪解け水が集まってできていることを確認して、まとめの言葉を考える。

まとめ

山に降った雨や雪どけ水が森林によってきれいにされ、集まって川や地下水になる。だから、森林などの自然を大切にしなければならない。

児童の発言を生かしたまとめ

- 児童の発言に問い返したり、追究した社会的事象の特色や意味について確認したりしながら、本時のまとめを学級全体で共有できるようにする。

- 本時のめあてを意識した学習の振り返りをする。

☆水は、山に雨が降って、森が雨水の汚れをとってくれてきれいな水になるのだね。降った雨が、何年もかけてきれいなことに驚いたな。森林には、浄水場と同じような働きがあり、山の森林を守ることが大切だと思った。

本時の振り返りの視点

- 分かったことや驚いたことなどを意識した振り返りをするよう、助言する。

指導例：『水はどこから』（第4学年 第9時）

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

- 水道水のもとになっているのが、地下水や川であることを確認する。
- 地下水や川の水は、地球にある水の中で、どれくらいの割合なのかを考え、それらのものがどこから来るのか、予想する。

T：わたしたちが使える地下水や川の水は、地球にある水の中で、どれくらいなのだろう？100%、10%、1%、0.01%から選ぼう。

S：10%かな。いや、もっと少ないかもしれないな。

T：正解は、0.01%。お風呂に例えると、スプーン1杯分です。

S：そんなに少ないのか。そんな貴重な地下水や川の水は、どこから来るのかな。

めあて 地下水や川の水は、どこから来るのだろう。

めあての設定

- 単元の最初に考えた学習計画を振り返り、本時で解決したいことを考えられるようにする。
- 児童が驚きをもち、興味をもって本時の学習に取り組めるように、課題意識が高まる資料を準備する。

2 一人一人が、解決に必要な情報を集め、読み取る。

- 「水の循環」の資料を見せ、資料から分かったこと、気付いたこと、思ったことなどをノートに記述する。

T：地下水や川の水は、どこから来ているのだろう？

S：海の水が雨や雪になって、雨や雪が川の水になっている。

- 「水をたくわえる山の森林」の資料を見せ、資料から分かったこと、気付いたこと、思ったことなどをノートに記述する。

T：森林がないと、どうになってしまうのだろう？

S：森がないと地下水がたまらない。森も浄水場みたいな働きがあるのかな。

- 一人一人が記述したことを小グループで伝え合い、共通点や相違点を考える。



資料の読み取らせ方の工夫

- 視点を明確にし、分かったこと、気付いたこと、思ったことなどを書くように助言する。
- 集中して、資料の読み取りができるように、1枚ずつ資料を提示し、読み取りの時間を明確に指示する。

学習形態の工夫

- 小グループで交流させることで、多様な意見に気づき、考えを深められるようにする

3 学級全体で整理した情報を基に考察する。

- 二つの資料から読み取った情報を基に、地下水や川の水がどこから来るのかを考える。

T：調べたことを話し合しましょう。

S：海の水が雨や雪となり、川の水になっている。

S：森林があることによって、水が流れていかず、地下水となっている。

- 「植生による雨水の浸透生の違い」の資料を基に、森林によって水がきれいになることを確認する。

T：貴重な水資源や水をきれいにしている森林を、これからどうすればよいだろう。

S：これからも水や森など、自然環境を大切にしなければならないね。

追加資料の提示

- 追加資料を見せることで、森林が果たす役割について、視覚的にも捉えられるようにする。

4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

- 水のもとになっている地下水や川の水が、山に降った雨水や雪解け水が集まってできていることを確認して、まとめの言葉を考える。

まとめ

山に降った雨や雪どけ水が森林によってきれいにされ、集まって川や地下水になる。だから、森林などの自然を大切にしなければならない。

児童の発言を生かしたまとめ

- 児童の発言に問い返したり、追究した社会的事象の特色や意味について確認したりしながら、本時のまとめを学級全体で共有できるようにする。

- 本時のめあてを意識した学習の振り返りをする。

☆水は、山に雨が降って、森が雨水の汚れをとってくれてきれいな水になるのだね。降った雨が、何年もかけてきれいなことに驚いたな。森林には、浄水場と同じような働きがあり、山の森林を守ることが大切だと思った。

本時の振り返りの視点

- 分かったことや驚いたことなどを意識した振り返りをするよう、助言する。

社会科学学習指導案

令和元年6月 第4学年 指導者 佐々木 大介

I 単元名 住みよいくらしをつくる「①水はどこから」

II 学習指導要領上の位置付け

(2) 人々の健康や生活環境を支える事業について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解すること。

(イ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、飲料水、電気、ガスの供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現すること。

III 目標

飲料水を供給するための事業の様子について追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 飲料水を供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。(知識・技能)

イ 供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、飲料水の供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現している。(思考力、判断力、表現力等)

ウ 飲料水に関わる対策や事業に関心をもち、単元の課題を予想し学習計画を考えたり、意欲的に調べたりして、学んだことを社会生活に生かそうとしている。

(学びに向かう力・人間性等)

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開（1/10）

- 1 ねらい 水に関するクイズや写真資料、家庭での水の使われ方の資料などを基に、疑問や調べたいことを話し合い、単元の課題を立てる活動を通して、水がどのような仕組みで届いているのか、追究する意欲をもてるようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。（5分）	○人が生きていく上で必要なものは何か、考えるよう促す。 ○水について学習していくことや、本時が「水はどこから」の学習について単元の課題を設定する時間であることを確認させる。		
めあて 水に関するクイズや写真資料、家庭での水の使われ方の資料などを基に、「水はどこから」の学習について、単元の課題を立てよう。			
2 一人一人が、本単元の社会的事象に関わる資料を基に、疑問や調べたいことを考える。（15分）	○水に関するクイズや写真資料から、考えたことや疑問に思ったことを発言するよう促す。 ○普段、家庭では、何に最も多く水を使っているか、自分の予想をノートに書くように促す。その際、理由も考えるように助言する。		
3 学級全体で、水についての疑問や調べたいことの共有や焦点化を図る。（15分）	○水についての疑問や調べたいことを発言するよう促す。 ○発言内容の共通点などを確認したり、その理由を問い掛けたりする。 ○板書の内容を基に「水はどこから？」「きれいな水を作る仕組み」「水が届く仕組み」などのキーワードを共有させる。		
水に関する資料の読み取りや比較を基に、疑問や調べたいことを記述したり、発言したりしている。 <ノート・発言（1）>			
4 本時のまとめとして単元の課題を立て、一人一人が学習の振り返りをする。（10分）	○水について、共通して解決すべきことを問い掛けるとともに、それぞれが考えた単元の課題を文で表し、小グループで伝え合うよう促す。 ○キーワードを基に、単元の課題を文で表し、板書する。		
【単元の課題】 毎日使う水は、どのような仕組みでわたしたちのところまで届くのだろう。			
○本時の振り返りとして、水について初めて知ったことや不思議に思ったこと、特に調べたいこと等を記述・発言するよう促す。			
☆一日に最も多く使っているのは、トイレなのだな。世界には、水を得るために何時間もかけている国もあるのだな。日本は、どうして簡単に水が手に入るのだろう。詳しく調べてみたいな。			

V 本時の展開（9／10）

1 ねらい 水道水の源である地下水や川の水について、水の循環や森林との関係を調べる活動を通して、地下水と川の水の源や、森林が果たしている役割について理解できるようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。（5分）	○きれいな水道水のもとになっているのが、地下水や川であることを想起させる。 ○地下水や川の水は、地球にある水の中でどれくらいの割合なのかを考えさせるとともに、地下水や川の水がどこから来るのか、予想するように促す。		
めあて 地下水や川の水は、どこから来るのだろう。			
2 一人一人が、解決に必要な情報を集め、読み取る。（20分）	○「水の循環」の資料を見せ、資料から分かったこと、気付いたこと、思ったことなどをノートに書かせ、一人一人が記述したことを小グループで伝え合うよう助言する。 ○「水をたくわえる山の森林」の資料を見せ、資料から分かったこと、気付いたこと、思ったことなどをノートに書かせ、一人一人が記述したことを小グループで伝え合うよう助言する。		
3 学級全体で、整理した情報を基に考察する。（10分）	○二つの資料から読み取った情報を基に、地下水や川の水がどこから来るのか、考えるように促す。 ○「水をたくわえる山の森林」や「植生による雨水の浸透能の違い」の資料から、森林が果たしている役割について問い掛ける。 ○児童の発言を基に、水と森林とのつながりについて確認しながら板書して整理する。		
地下水と川の水の源や、森林が果たしている役割を考え、記述したり、発言したりしている。 <ノート・発言（2）>			
4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（10分）	○水道水のもとになっている地下水や川の水が、山に降った雨水や雪解け水が集まってできていることを確認しながら、児童の発言を基に、まとめの言葉を板書する。 ○水道水のもとになっている地下水や川と森林とのつながりについて、分かったことや驚いたことなどを意識した振り返りをするよう促す。 ☆水は、山に雨が降って、森が雨水の汚れをとってくれてきれいな水になるんだね。降った雨が、何年もかけてきれいになることに驚いたな。森林には、浄水場と同じような働きがあり、山の森林を守ることが大切だと思った。		

V 本時の展開 (10/10)

1 ねらい 浄水場の仕事や水資源についての報告書を作り、単元の課題の結論を考える活動を通して、浄水場の仕組みや水を送る工夫、環境保護の大切さを理解できるようにする。

2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
<p>1 本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <p>○「水はどこから」における本時の位置付けが、単元の課題に対する結論を導く時間であることを確認させる。</p> <p>○きれいな水を作ったり送ったりする仕組みについて、追究する過程の各単位時間で解決してきたことを問い掛ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>めあて どのようにきれいな水が作られ、わたしたちのところまで届いているのか、報告書にまとめよう。</p></div>			
<p>2 一人一人が、学習してきたことを基に、単元の課題に対する結論を考える。(10分)</p> <p>○前時まで学習した内容をプレゼンテーションで提示する。</p> <p>○水が届くまでの仕組みを調べてきた中で、印象に残っていることについて発表するように促す。</p> <p>○単元の課題を確認し、自分なりの結論をノートに書くよう促す。</p>			
<p>3 学級全体で、単元の課題に対する結論を話し合う。(20分)</p> <p>○一人一人が記述したことを小グループで伝え合うよう助言する。</p> <p>○グループ内の友達の発表を参考にし、協力して単元の課題に対する結論をまとめて、報告書の「終わり」の部分に書くように促す。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><p>きれいな水が家庭に届くまでの仕組みや環境保護の大切さを報告書に記述したり、表現したりしている。<報告書・発言(2)></p></div>			
<p>4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。(10分)</p> <p>○報告書の「終わり」の部分を発表するように促す。</p> <p>○児童の発言を整理し、「水はどこから」についての単元のまとめを板書する。</p> <p>○単元の課題に対する結論を基に、本単元の振り返りをするよう促す。</p> <p>○単元の課題を協働的に解決できたことや、自分と水、自然との関わりについて考えられたことなどを称賛する。</p> <p>☆きれいな水を作るために、多くの人が働いて、たくさんの工程があったね。水資源を守るために、森林も大切にしなければいけないね。これからも、水を大切にするために、節水などを心掛けていきたいな。</p>			

指導計画 社会科 第4学年 単元名：住みよいくらしをつくる「①水はどこから」(全10時間計画)

目標	飲料水を供給するための事業の様子について追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 (1) 飲料水を供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。(知識・技能) (2) 供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、飲料水の供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現している。(思考力、判断力、表現力等) (3) 飲料水に関わる対策や事業に関心を持ち、単元の課題を予想し学習計画を考えたり、意欲的に調べたりして、学んだことを社会生活に生かそうとしている。(学びに向かう力・人間性等)		
評価規準	(1) 市の飲料水の確保の対策や事業、川や森林の環境を守る人々の活動について、関心をもって調べ、自分も節水や飲料水の再利用などの取組に協力しようとしている。 (2) 市の飲料水を確保するための対策や事業について、学習問題の予想や学習計画を考えたり、的確に見学、調査したりして必要な情報を集め、これらの対策や事業は、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることについて、思考・判断したことを適切に表現している。 (3) 飲料水に関わる対策や事業について、的確に見学・調査し、具体的資料を活用して、必要な情報を集めて読み取ったり、まとめたりしている。 (4) 飲料水に関わる対策や事業は、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていること、また、これらの諸活動に関心を持ち、地域社会の一員としてよりよい生活環境を考えることの重要性を理解している。		
過程	時間	○ねらい ㊟めあて	☆振り返り (意識) ◇評価項目 <方法(観点)>
つかむ	1	○水に関するクイズや写真資料、家庭での水の使われ方の資料などを基に、疑問や調べたいことを話し合い、単元の課題を立てる活動を通して、水がどのような仕組みで届いているのか、追究する意欲をもてるようにする。 水に関するクイズや写真資料、家庭での水の使われ方の資料などを基に、「水はどこから」の学習について、単元の課題を立てよう。	☆一日に一番多く使っているのは、トイレなのだな。世界には、水を得るために何時間も掛けている国もあるのだな。日本は、どうして簡単に水が手に入るのだろうか。詳しく調べてみたいな。 ◇水に関する資料の読み取りや比較を基に、疑問や調べたいことを記述したり、発言したりしている。 <ノート・発言(1)>
単元の課題 毎日使う水は、どのような仕組みでわたしたちのところまで届くのだろう。			
	1	○単元の課題に対する予想を出し合い、それを確かめるための調べる計画を立てる活動を通して、解決する意欲をもてるようにする。 単元の課題を解決する方法や調べる計画を立て、予想しよう。	☆水をきれいにするのに、たくさんの機械を使っているのかな。きれいな水ができるのに、どの位の時間が必要なのかな。
	1	○浄水場の見学で調べたり質問したりすることを話し合う活動を通して、単元の課題を解決するために必要な情報を集めることができるようにする。 見学の時に、単元の課題を解決するために調べることを考えよう。 <調べる内容> ・水道水のもとになるもの ・水がきれいになる仕組み ・水が家まで届く仕組み	☆水道の水は、どこからくるのかな。どうやって、水をきれいにして、家まで届くのかな。 ◇しおりの中に、知りたいことや質問したいことなどを記述したり、発言したりしている。 <しおり・発言(3)>
追究する	2	○浄水場を見学する活動を通して、安全で大量の水道水を作る仕組みを理解できるようにする。 浄水場を見学して、働いている人たちの工夫や努力を調べよう。	☆浄水場では、どのように水をきれいにしているのかな。太田市には、たくさんの人が住んでいるのに、どうやって水を届けているのだろうか。
	1	○水道局の人々の仕事を調べる活動を通して、安全で大量の水が作られる仕組みや働く人々の工夫と努力を理解できるようにする。 浄水場では、どのようにしてきれいな水を作っているのだろうか。	☆川の水や井戸水を使って、飲み水を作っているのだね。水をきれいにするためには、たくさんの行程があるのだね。 ◇浄水場で働く人々の工夫や努力について、見学してきたことや資料を基に、記述したり、発言したりしている。 <ノート・発言(4)>

追究する	<p>1 ○水道局の人々の仕事を調べる活動を通して、安全で大量の水が市全域に送られる仕組みや働く人々の工夫と努力を理解できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">水が届くまでに、どのような工夫があるのだろう。</div>	<p>☆高いところに受水場や配水場を作って、家に送れるようにしているのだね。</p>	<p>◇市内各地に水が供給される仕組みについて、見学してきたことや資料を基に、記述したり、発言したりしている。 <ノート・発言 (4) ></p>
	<p>1 ○学校の水道施設を調べる活動を通して、安全で大量の水が教室まで送られる仕組みについて理解できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">学校の水は、どうして3階まで届くのだろう。</div>	<p>☆学校では、受水槽に送られたものがポンプで高架水槽に送られているから、3階でも勢いよく水が出るのだね。</p>	<p>◇学校に水が供給される仕組みについて、見学してきたことや資料を基に、記述したり、発言したりしている。 <ノート・発言 (4) ></p>
	<p>1 ○水道水の源である地下水や川の水について、水の循環や森林との関係を調べる活動を通して、地下水と川の水の源や、森林が果たしている役割について理解できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">地下水や川の水は、どこから来るのだろう。</div>	<p>☆水は、山に雨が降って、森が雨水の汚れをとってくれてきれいな水になるのだね。降った雨が、何年もかけてきれいなることに驚いたな。森林には、浄水場と同じような働きがあり、山の森林を守ることが大切だと思った。</p>	<p>◇地下水と川の水の源や、森林が果たしている役割を考え、記述したり、発言したりしている。 <ノート・発言 (2) ></p>
まとめ	<p>1 ○浄水場の仕事や水資源についての報告書を作り、単元の課題の結論を考える活動を通して、浄水場の仕組みや水を送る工夫、環境保護の大切さを理解できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">どのようにきれいな水が作られ、わたしたちのところまで届いているのか、報告書にまとめよう。</div> <p>※国語「見学したことを報告しよう」の学習内容と関連付けて、報告書の作成を行う。</p>	<p>☆きれいな水を作るために、多くの人が働いて、たくさんの工程があったね。水資源を守るために、森林も大切にしなければいけないね。これからも、水を大切にするために、節水などを心掛けていきたいな。</p>	<p>◇きれいな水が家庭に届くまでの仕組みや環境保護の大切さを報告書に記述したり、表現したりしている。 <報告書・発言 (2) ></p>